

巻 頭 言

札幌学院大学心理学部長

室 橋 春 光

2018年4月、数年の準備期間を経て、札幌学院大学に心理学部が設置された。臨床心理学科のみの単科構成であるが、心理学に寄せられる期待の大きさに、教員一同、学部のさらなる発展に向けて改めて気を引き締めている。

札幌学院大学心理学紀要は、本学総合研究所に属する心理研究部会が発行する学術雑誌であり、心理学部の専任教員が会員となっている。その他に総会で認められた特別部会員と客員部会員も会員となる。

研究者が研究成果を公表する場である学術雑誌は、昔に比べて増えてきたといえる。それでもなお、研究機関ごとに発行される紀要をみると、インパクト・ファクターの高い学会誌に掲載され注目されるような論文ではないかもしれないが、研究者の学問的姿勢を垣間見ることの出来る興味深い論考に出会うことがしばしばある。

札幌学院大学心理学紀要の初巻には、2018年現在の専任教員である会員より投稿された論文が、編集委員会を経て掲載されることになった。第1巻第1号には、5名の教員による論文と研究ノートが掲載される。専任教員の専門とする領域は、臨床心理学を中心として多岐にわたっている。今後も、専任教員以外の研究員の方々の投稿も含めて、さらに多様で内容豊かな紀要となることを期待するものである。読者の皆様から忌憚のないコメントをいただき、それを基に我々の研究力量をさらに高めていくことで、本学部の教育と研究に資するとともに、心理学ならびに臨床心理学領域の発展に少しでも寄与できることを願うものである。